

羽島市立中島小学校 4つ葉のクローバー実現プラン2026（R8）（学校経営の全体構想）

羽島市 学校教育の方針と重点

<方針>

- ◇学校の教育目標の具現に徹する学校経営・学級経営をする。
- ◇全てのこどもが主体性・協働性をキーワードに、自己の力を主体的に発揮して、ともに学ぶ意義や喜びを実感する。
- ◇地域の強みやネットワークを生かし、身近な社会の問題を解決する探究的な学びを推進する。
- ◇いじめや問題行動の未然防止・早期発見に努め、早期に組織的な対応・支援を行う。
- ◇不登校傾向のあるこどもへの社会的自立に向けた、誰一人取り残さない支援を充実する。

<重点>

- ①未来を切り拓く「確かな学力」の育成
- ②豊かな心と健やかな体の育成
- ③多様なニーズに応える学びの支援の充実
- ④こどもの学びを支える教育の環境づくり

児童・保護者・地域の実態

- ・真面目で素直な児童が多く、落ち着いた学校生活を送っている。
- ・「あいさつ」「そうじ」「授業」「ボランティア」を中心に、自分たちの学校生活をよりよくしようという気持ちで、諸活動に取り組んでいる。
- ・困難に立ち向かうたくましさや、異なる価値観や生き方をしている人と協働していこうというしなやかさには課題がある。
- ・地域は伝統を重んじる気風があり、安定しており、学校の教育活動に対する理解がある。
- ・価値観や教育観は多様化しており、保護者や地域とコンセンサスを図りながら教育活動を推進する必要がある。

中島中学校区小中一貫教育の目標

夢や目標をもってたくましく歩み、地域を愛し、地域社会に貢献できる児童生徒

2026年度（令和8年度）学校の教育目標 スローガン

夢に向かって 歩み続ける 中島の子

4つ葉のクローバー ①「あいさつ」 ②「そうじ」 ③「授業」 ④「ボランティア」

重点課題と課題克服の手立て

な	か	し	ま
仲間づくりへの挑戦 いじめは許しません	からだづくりへの挑戦	しあわせづくり、じまんづくりへの挑戦	学びづくりへの挑戦
<ul style="list-style-type: none"> ・元気に登校し、笑顔で下校ができるよう、児童の学習や生活を見とどけ、児童が自己肯定感や自己有用感を高めることができるよう指導・助言する。 ・児童会や学級発案による取組を決め、計画・評価・実践する。 ・「学校生活が楽しい」、「みんなで何かをするのが楽しい」というアンケートに「どちらかといえばあてはまる」と回答する児童を「あてはまる」と回答するようにできる集団づくりを推進する。 ・原則3月に一度、いじめの防止等を推進する週間を位置付け、児童がいじめ根絶に向け、生命尊重や思いやりの心を高めることができるようにする。 ・いじめ発生時には、速やかにいじめ防止対策委員会を開き、事実確認と早期対応について確認・検討する。 	<p><体の健康></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校三師の指導を踏まえ、望ましい生活習慣の確立をめざし、健康教育や環境衛生等の充実を図る。 ・保護者と協力して、児童自らバランスのとれた食事・運動・睡眠を心がけ、心身の健康に配慮できるようにする。 <p><心の健康></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常観察や定期的にアンケートを実施し、不安や悩みの早期発見・早期の組織的対応・継続的な見とどけに尽力する。 ・不登校対応・教育相談の充実を図る。（校内での居場所づくり、保護者や児童ニーズの確認、オンライン等の活用、フリースクールや適応指導教室、SSW・子育て健康課等関係職員・関係団体との連携） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「好き」を育み、「得意」を伸ばす教育活動の充実を図る。生活科及び総合的な学習の時間等に、地域人材を積極的に活用し、体験的で探究的な学習を実施する。 ・ふるさとの人や自然、文化に触れる体験活動を充実し、「ふるさと中島」への誇りと愛着を育む。 ・多くの情報や経験の中から、選択・決定を繰り返し行い、児童が夢を育むことができるよう「ランチタイムキャリア」「将来の夢語り」など、キャリア教育を充実する。 ・学校情報配信システム「すぐーる」やホームページを活用し、積極的に学校生活にかかわる情報を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な学業指導（①話す…声の大きさ、根拠を明確に、わかりやすく、②きく…姿勢よく、話し手への配慮を意識する、③書く…効果的なノートの活用）を踏まえ、児童が「できた、わかった」と実感できる学習をすすめる。 ・算数を主題研とし、習得・活用・探究の学びを通して、「個別最適な学び」や「協働的な学び」を実現できるよう指導・助言する。 ・タブレット等ICTを効果的に活用できるようにするとともに、児童と保護者対象の情報モラル教育の充実を図る。
<p>・人と人とのかかわり合いを通して、児童にたくましさとしなやかさを育成する。</p>			

チーム なかしまん

- 働き方改革を推進し、教育の質を落とさず、勤務の効率化・スリム化を目指す教職員集団 ～元気に出勤、笑顔で帰宅～
 - ・早く帰る日等としてプレミアムウィークやプレミアムデイ、プレミアム日課などを位置付ける。
 - ・心理的安全性が担保された職場づくり…多忙期の分業・臨時チーム対応等
- 「+1（プラスワン）」を志す教職員集団
 - ・「現状維持は衰退である」と考え、行事や取組がマンネリ化しないよう改善や試みに意欲的な教職員集団
- 不祥事根絶や服務規律に対する意識を高め合う教職員集団
 - ・健全な同僚性を醸成し、不祥事をしない・させない職場とする。
- 関係諸機関との連携・協力する教職員集団
 - ・コミュニティ・センター、地域の先生、保育園、市役所、子ども相談センター、警察、民生児童委員 等